

## 全日本民医連第2回 HPH ネットワークセミナー (1/17~18)に参加してきました!

### 1. 国際講演

①「世界に広がる HPH-HPH の可能性と地域・住民主体のヘルスプロモーションへの期待」

ハンネ・ターネセン 氏

ヘルスプロモーションは、その人が、あるいはその地域の人々が人生の中でやりたいことを実践できるということだという趣旨の言葉が最も印象的であった。まさに民医連や医療福祉生協での健康観自体が世界標準であることに確信がもてる。喫煙や飲酒、運動不足、肥満（または栄養不足）などについて話をするに関して医療従事者側がむしろ躊躇してしまっていて、実は患者側はサポートや介入を希望している（患者の約8割）という指摘も重要であった。

②「京畿道医療院水原病院の健康増進活動」

アン・ジュヒ（安 奏姫）氏

アルコール問題、喫煙問題、運動習慣の推進、肥満改善への取り組み、性知識の研究・教育活動など先進的な活動に感銘を受けた。

### 2. 実践報告

①「住民全体の健康な地域づくりに向けてー佐久総合病院のヘルスプロモーションの実践ー」

前島文夫 氏

佐久総合病院の理念に「生きがいのある暮らしが実現できるような地域づくり」と「国際保健医療への貢献」が明記されていることを知り共感する。また健康祭りや演劇、地域ブロック活動などの実践に活かされてきた歴史に驚かされるが、逆に民医連や医療福祉生協・協同組織が他の地域で実践してきた歴史ともあわせて、そこにみられる不変性の方が重要ではないかと考えた。今後は自治体や他の医療機



関等との協力・協同（自治体とは必要によっては闘いも）が重要であることも共通していると思われた。

②「医療生協さいたま HPH の戦略と実践」

福庭勲 氏

現在香川民医連でも平和病院と協同病院を中心に HPH 加入の準備を進めているが、HPH への登録・加入後にどうすればよいか考えていたところであったので、職員に向けての定期的な学習企画や HPH 推進センターの設置やその体制、1 職場 1 HPH といった実際の活動などの具体的な報告がありがたかった。

### 3. パネルディスカッション

「忙しい中でも病院や事業所の課題を職員や地域住民と共有し、その解決に向けて共同して取り組むためにも HPH 活動が重要」だとの指摘はより認識を深め、今後の活動への意欲にもつなげることができそうである。医師や保健師、看護師その他のメディカルスタッフや事務も含めて、HPH を職員研修の中にどう入れ込んでいくことができるか、そこに我々民医連・医療福祉生協の後継者育成や組織自体の存続の問題そのものがかかっていると感じた。

（高松協同病院 北原孝夫）

リレー



投稿

# いつでも憲法

県連理事に続いて各事業所の管理者・職場長のみなさんに、憲法に対する想いをリレーで投稿してもらいます。

終戦から 70 年近くが経過しました。戦争が悲劇を生むことを誰もが思い「戦争をしない」と誓い憲法第 9 条が作られたと思います。私は戦争のない平和な日本に生まれ良かったと安心していましたが、集団的自衛権を容認された今では憤りや今後の生活に不安を感じています。

今回の半ば強引に閣議決定した安倍首相の行動にも疑問を持ちますし、国民の意見を無視して突っ走っていることに日本の将来が危機感にさらされることとなった決定でもあったと思います。アメリカの政治要求を断れない日本がアメリカに戦争参加を強要された場合、同盟関係維持のため戦争に巻き込まれるのではないのでしょうか。集団的自衛権は自国を守るというより戦争に加担する可能性が高まるのが懸念されます。世界で一番安全な国と選ばれている日本の今後はどうなるのでしょうか。

私は集団的自衛権に反対です。憲法第 9 条を守り、安心して暮らせる平和な日本を次の世代へ繋げていくことが私たちの使命だと思います。

高松協同病院東病棟チームマネージャー 宮地真由美